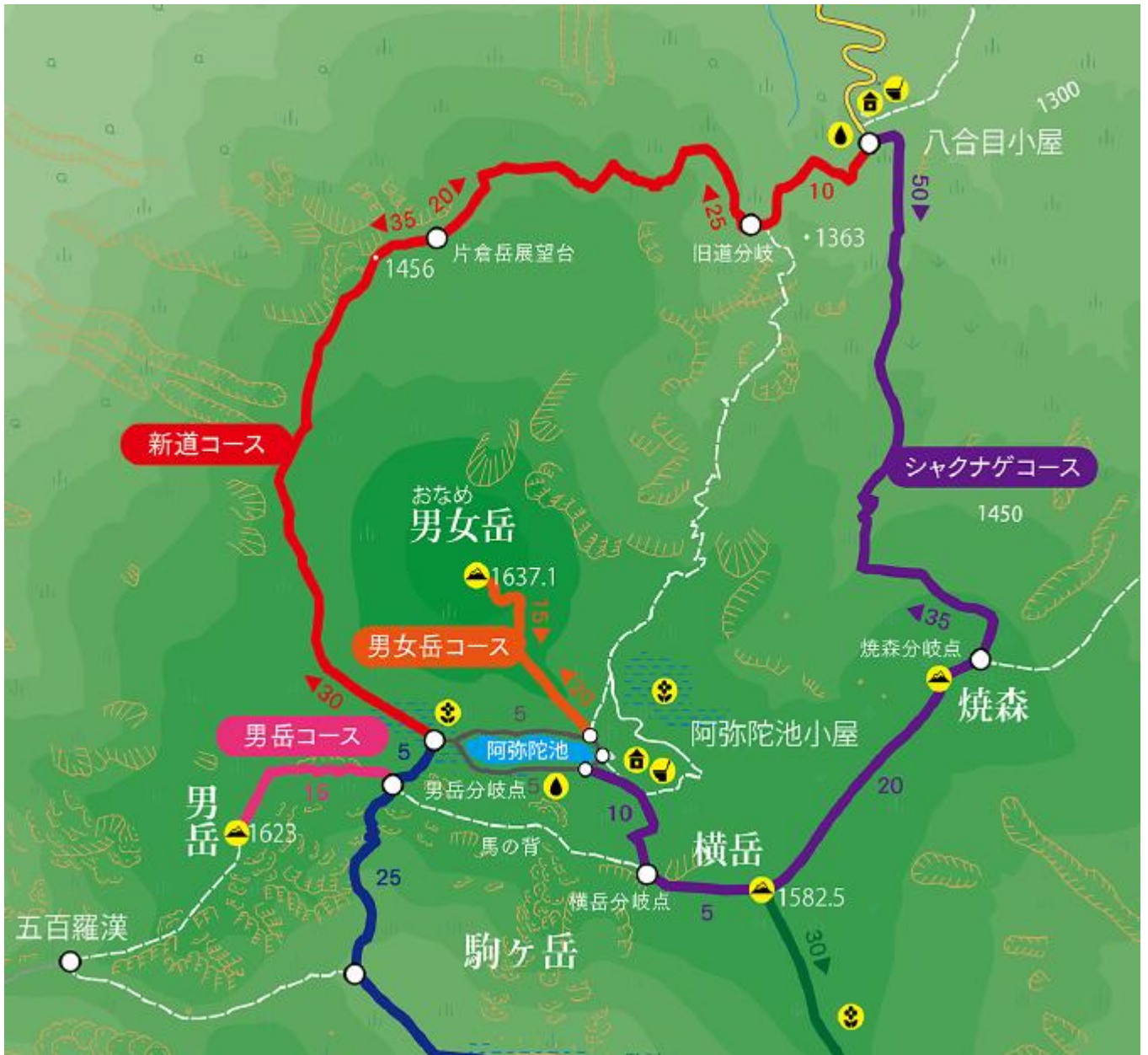


2025 年 7 月 18 日（金）～19 日（土）
秋田駒ヶ岳（1637m） & 乳頭温泉三昧、角館武家屋敷散策

翌日は、昨日以上に良い行楽日和となりました。

梅雨は明けたようなのですが、日差しはかなり強い。今日も日中の気温は相当上がることが予想されました。登山途中の厳しい暑さは避けたいです。また、秋田駒ヶ岳では、お花畑での撮影に時間がかかることも想定出来ました。出来るだけ涼しい早い時刻に出立して、余裕を持って下ってくることにしました。

マイカーの通行規制があるため、登山口の 8 合目まではシャトルバスで行きます。登山口から新道コースを通じて阿弥陀池に出て、男女岳（おなめだけ 1637m）を往復します。



予定では、新道コースをピストンのつもりでしたが、男女岳から下った時に少し時間の余裕があつて欲が出ました。急遽シャクナゲコースを使って 8 合目登山口へ下ることに変更しました。

そして、思いもしなかった僥倖がありました。

そのあと、いささか慌てる事態ともなりました。

7月19日（土）晴れ；秋田駒ヶ岳（200名山）登山

マイカー規制の為に、8合目登山口へは車で行けません。中継地の「アルパこまくさ」でシャトルバスに乗って登山口へ向かうことになります。

昨晚の内にみんなで相談して、予定よりも早いシャトルバスに乗ることにしました。朝食は昨日コンビニで購入したおにぎりなどで済ませることにしました。

高山植物が待つ花の山に向けていざ出発！！



男子4人は4時過ぎにゴソゴソと起きだした。

おにぎりを食べたり、朝風呂に入ったり、ザックを整理したり、登山準備に余念がない。

***堀さんがおむすびに向かって、何やら吠えていた。**

「こんなまずい握り飯は、初めてだ……。米粒がバラバラで、食うに堪えない。」とブツブツブツ！

冷蔵庫に入れておいた所為か？

早朝の空気は爽やかで、未だ涼しい。



三々五々、玄関前に集まってきた。



「休暇村 乳頭温泉郷」は、概して評判よし

湯も良いが、食事美味しい

また、利用したいという声もチラホラ

レンタカーで、シャトルバスが待つ「アルパこまくさ」へ向けて出発



10分ほどで「アルパこまくさ」駐車場到着
(↓下山後に汗を流す予定の「自然ふれあい温泉館」がバス発着場所の一角にある)



6時31分発のシャトルバスに乗り込んだ



シャトルバスは、20分ほどで8合目登山口の駐車場に到着
(標高 1300m)

このシャトルバスに乗車していた人だけが
この時刻の登山者なので、極めて少ない



7時8分

新道コースを利用して男女岳へ向けて出発

8合目登山口の案内図前で集合写真

登山道に入ると、早速足元には様々な花が現れた。とても、その都度全部を掲載できないほどだ。

【一寸ひとこと】今回出会えた花々の写真は、少しずつ掲載。そして、別にまとめて一気に公開いたします。



モミジカラマツ



ハクサンチドリ



タカネニガナ

登山道は緩やかな登りが続く。我々は、花の写真を撮りながらのんびりと歩いた。



7時17分

「旧道コース」への分岐地点に到着
危険なので通るなと警告されていた。旧道
コースは、いかにも危険そうな岩肌が露出



我々は、足元の石に書かれた「新道コース」
の標識に従って登ることにした。



ミヤマカラマツ



ヨツバヒヨドリ



ウゴアザミ



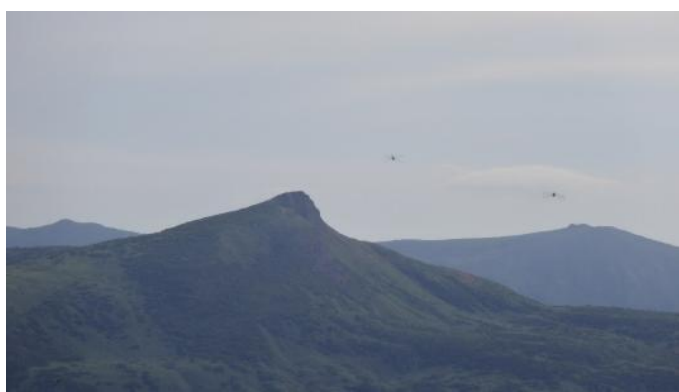
7時47分

「片倉岳展望台」に到着

眼下には昨日行った田沢湖、遠くには乳頭山が望めた。



田沢湖



乳頭山（標高 1478m）



さて、確か、この休憩の時でなかったか？



中島さんが、昨日コンビニで購入したおにぎりをモグモグ食べ始めた。

「このお握りはなんですか！お米がぼろぼろではないですか！」*今朝、堀さんが言っていたことと同じことを言っていた。

やはり、余程、酷かったようだ！こちらも冷蔵庫に入れておいた所為？



8時

片倉岳展望台を出発

登山道にハクサンシャクナゲが沢山現れた。



暫くすると、今度はニッコウキスゲのお花畑に入り込んだ。



登山道左右のニッコウキスゲを背景に、写真に収まる。



8時40分

阿弥陀池に向かう登山道は木道に代わった。高山植物保護が良く行き届いていた。



阿弥陀池が近づくと、先方の山の斜面の一角が黄色一色

ニッコウキスゲの群生だ！
ここまで密集して咲いているのを見ることはめったに無い。



S 社が誇る写真家 中島さんは、わき目もふらずに群落に駆け寄り、盛んにシャッターを切っている。





木道は阿弥陀池に向けて続いていた。

阿弥陀池を右に、男女岳を左に見上げながら阿弥陀池避難小屋へ

阿弥陀池は、男女岳、男岳、横岳に囲まれている。

阿弥陀池避難小屋が先方に少しだけ写っている。その先には**浄土平**が広がっている。



9時

秋田駒の最高峰 男女岳（おなめだけ
1637m）に挑戦



今回の登山行では、最も厳しい急登
後続は大分下の方を、ゆっくりゆっくり登
っている。

男女岳山頂への登山道でも、沢山の花が咲いていた。



時期の過ぎたチングルマ



エゾツツジ



ハクサンシャジン

9時15分

山頂に立つ。田沢湖、阿弥陀池が見下ろせる。



9時27分

阿弥陀池までの下り開始





当初の予定では、阿弥陀池から新道コースを利用して8合目登山口まで戻る予定であった。山頂での休憩を少し早めに切り上げて下山した為、多少の時間のゆとりが出来た。こうなったら、もと来た登山道に戻るのには芸が無い。シャクナゲコースを利用して、八合目登山口に戻ることに意見が一致した。

この決定で、思いもしなかった僥倖があり、いささか慌てる事態ともなった。



9時45分 8合目に向けて移動開始
取ったコースは、「シャクナゲコース」

まず、**横岳（1582m）**まで一旦登って、そこから後は、ほとんど下りとなる。少々腹も減って来て、登りは少々きついかな？



横岳山頂近くまで登り切れば登山道はグッと緩やかになる。



10時過ぎ

横岳に到着（1583m）

横岳からの登山道では、シャクナゲコースの名の通り、「ハクサンシャクナゲ」「アズマシャクナゲ」の花が沢山

咲いていて飽きることが無かった。



シャクナゲの樹林を抜けると火山性のガレ場が続き、その先に**焼森**がある。



焼森山頂（1 5 5 1 m）



なんと！ 山頂を中心としたガレ場の周りには**高山植物の女王**と呼ばれる「**コマクサ**」があちこちに咲いていた。
コマクサの群落に遭遇できるとは思ってもみなかった。
シャクナゲコースを選んだ僥倖であった。



コマクサの群落に感動して、我々は写真撮影に時間を取り過ぎてしまったかもしれない。
8合目駐車場発 1 1 時 1 5 分のシャトルバスに乗らなければならない。

これを逃すと、温泉で汗も流せないし、その後の昼食時刻にも影響する。にわかに慌ただしくなった。



中島さんのスマホで登山道ナビを見ても、中々駐車場までの到達時間が縮まらない。



兎に角、気が焦ってきた。

後ろから煽るものだから、熊本さんは足を滑らせて尻もちをつくほどだ。
こうなったら、かつて、動き始めていたバスを止めたとか、飛び乗ったとかの武勇伝を持つ中島さんを頼るしかない。

中島さんが、自らに一鞭(ひとむち)入れた。

かくして、バス発車4分前には堀、根岸、堀内組が駐車場に到着、熊本、吉松組も3分前には滑りこみで到着



11時15分発のシャトルバスに乗り込む

【いつもマイペースで歩くことの多い堀さんだが、この時は(堀さん談)・・・】

かなり真面目に歩いて一番に駐車場に着いた。誰も降りてこないの、一寸焦った。いざとなったら、バスに少し待ってもらおうかと・・・。

やるときはやる、ということか？

兎に角、無事に下山が出来て良かった。



この時刻の下りのシャトルバスは、ガラガラ

ほとんど貸し切り状態であった。

11時40分に「アルパこまくさ」に到着

早速「自然ふれあい温泉館」で汗を流すことにした。

この温泉館で昼食をとる予定であったが、コロナ禍以来食堂はやっていないとのこと。

やむを得ないので、田沢湖駅周辺で昼食をとることにした。2日間で、7回目の温泉入浴。



自然ふれあい温泉館

お一人様 550円也

早い時刻の為、貸し切り状態で湯につかる

湯上りの美味しい牛乳がご馳走であった。



「アルパこまくさ」駐車場を後にして、田沢湖駅に向かった。

レンタカーによる、本日最後のドライブ

途中ガソリンを満タンにした後、

気の利かないナビがとんでもない回り道をして田沢湖駅に向かわせようとする不埒（ふらち）もあったが、まずは安全無事故の運転を終えて、車をレンタカーに返した。

駅前の土産物屋「田沢湖市」で、帰りの車中で飲む日本酒一本を入手

そして、駅前のお食事処「みずうみ」に飛び込んだ。



田沢湖駅前の店は思いの外少ない。
探し回った挙句にお食事処「みずうみ」に入った。

メニューでは、「冷やし稲庭うどん」に食指が動かされた。

新幹線への乗車時刻が迫っていたので、店では中島さん自らが動いて、生ビールのサーバーまでしてしまった。



全ての行程が終了した。

2日間一緒だった中島さんは、田沢湖駅から友人のいる秋田に行くことになった。

残りの5人は、田沢湖駅発14時8分の「こまち24号」で東京へ帰ることにした。



こまち24号に乗り込んで、早速車中での一献。 駅前で買い求めた日本酒1本は瞬く間に空になった。



楽しい2日間の散策と秋田駒登山が終わりました。

秋田駒を構成する山には、男女岳だけでなく男岳、女岳などもあって、そちらに足を延ばすのも一興かなと皆で話し合いました。「休暇村 乳頭温泉郷」は料理が殊の外おいしいので、連泊するのも良いという意見も出ていました。

温泉には本当によく入りました。日頃のストレスも疲れも吹き飛びました。再び、乳頭温泉郷へ足を延ばして連泊することがあれば、更に多くの温泉を楽しめそうです。

【番外編のおまけ】

中島さんは田沢湖駅で5人と別れて、秋田市在住の友人を訪ねて行きました。

海外旅行をご一緒したことのある方とのことです。

恐らく、友人としこたま飲んだことでしょう。中島さんの秋田での遊興のスナップ写真を紹介します。



2025 年 7 月 18 日 19 日

秋田駒ヶ岳・他で出会った高山植物

Report By Kumamoto



アジサイ



アカショウマ



ヤブカンゾウ



タカネグンナイフウロ



イワハゼ



エゾアジサイ



トリアショウマ



タカネニガナ



ハクサンチドリ



ハクサンシャクナゲ



ヤマブキショウマ



オニアザミ



モミジカラマツ



ミヤマカラマツ



ウゴアザミ



ヨツバヒヨドリ



ハクサンボウフウ



ミヤマトウキ



ミヤマトウキ



オニシモツケ



トウゲブギ



ヤマハハコ



イワオトギリ



ハクサンシャクナゲ



タカネアオヤギソウ



ミヤマハンショウズル



タテヤマリンドウ



ニッコウキスゲ



エゾニュウ



オオバクスミレ



ハクサンボウフウ



ハクサンシャジン



ヨツバシオガマ



キンコウカ



チングルマの実



エゾツツジ



イチヤクソウ



コマクサ



イワブクロ



コバイケイソウの実



ウサギギク (散った後)



ベニバナイチゴ



マルバナモツケ



シロバナニガナ